



平成 31 年 3 月 29 日

独自性をもつ企業をめざし、技術研究所の全面改修と増築を実施 － 関西を中心にオープンイノベーションを強化 －

株式会社浅沼組（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長 浅沼 誠）は、2018 年度から始まった中期 3 ヶ年計画に謳う浅沼組らしさ（独自性）の確立をめざす一環として、このたび大阪府高槻市にある技術研究所の既存本館の全面改修と ANNEX 棟の増築を実施し、2019 年 3 月より本格的に運用を開始することになりました。

今回の増改築に併せて最新鋭の試験機器への更新と特に強化に取り組むリニューアル分野での競争力を高めるための試験機器も拡充させ、この分野では関西圏ではトップレベルの設備になっております。

既存本館は、研究実験施設だけではなく、中央吹抜けの打合せロビーを中心に、研究用のライブラリーを併設したワークエリア、研修や協業する大学・企業・団体との会議エリア、歓談や懇親のためのリフレッシュコーナーの三つの機能をコンパクトに配置し、効率的にいきいきと働ける共創の場となっております。さらに研修機能を付加し当社の若手技術者および協力会社の技術者教育を担う施設としても活用できるように整備を行い、会議室での座学だけでなく、実験施設を利用した体験を通じた学習により、若手技術者のより実践的な施工管理能力の向上をめざしてまいります。

ANNEX 棟には、地震モニタリングシステムを設置した制振構造を採用し、多目的実験スペースを設け、天候に左右されずより多くの実験を同時並行できるようにするとともに、また、実地型の研修にも使用できるように整備をしました。

関西に拠点を置く数少ないゼネコンの技術研究所として、特に関西圏の大学および公的試験所との連携をさらに深めるとともに、新たな価値創出を志向する企業・団体とのオープンイノベーションを積極的に進めており、すでに生コンクリート組合や調査診断会社との技術連携をスタートさせています。

3 月 8 日には増改築完成記念式典を執り行い、京都大学、大阪大学、神戸大学、東京工業大学、一般財団法人日本建築総合試験所をはじめ、多数の関係者にご列席いただきまして、誠にありがとうございました。

今後関西では、2025 年に大阪万博開催に向け都市開発の活性化が期待され、お膝元に拠点を置く技術研究所として、いのち輝く未来社会に向けて、お客様へ独自性のある技術提案ができるように「研究開発」、「異業種との共創」、「教育」の好循環をつくり出し、日々新たなチャレンジを続けてまいります。

既存本館と ANNEX 棟の概要は以下のとおりです。

○ 既存本館

- ・ 構造：PRC 構造
- ・ 階数：地上 2 階（一部 3 階）
- ・ 建築面積： 1,168m²
- ・ 延床面積： 1,972m²

○ ANNEX 棟

- ・ 構造：S 造（制振構造）
- ・ 階数：地上 2 階
- ・ 建築面積： 827m²
- ・ 延床面積： 1,441m²



左棟：既存本館、 右棟：ANNEX 棟



技術研究所 全景

[3月8日 完成記念式典]



浅沼誠社長の挨拶



弥生会会長の挨拶

[既存本館]



外観



打合せロビー



ライブラリー



会議エリア



リフレッシュコーナー



集中ワークエリア

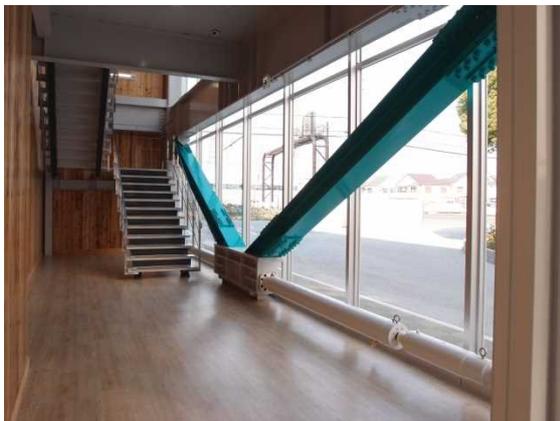
[ANNEX 棟]



外観（北西面）



外観（北東面）



制振ダンパー



CLT（直交集成板）を用いた内壁



自然光照明を用いた多目的実験スペース

お問合せ先

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号

株式会社浅沼組 技術研究所 立松 和彦

TEL 072-661-1620 FAX 072-661-1730